

個 別 の 人 権 課 題		インターネットによる人権侵害		
校 種	高等学校	本時に関わる 3つの側面	知 識 的 側 面	○
対 象 学 年 等	第1学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	◎
教 科 等	社会と情報		技 能 的 側 面	○
单 元 名	望ましい情報社会の創造を目指して			

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

情報化が社会に及ぼす影響と課題を理解するとともに、情報技術を適切に活用する必要性を認識する。また、情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任等の面から情報社会の特性や在り方について考え、望ましい情報社会の創造に向けて責任を自覚して行動することができる。

(2) 単元の計画

- 1次・・・情報と情報社会
- 2次・・・社会の変化と個人の責任
- 3次・・・情報社会の問題と個人情報の保護（本時）
- 4次・・・メディアの特徴とメディアリテラシー

2 学習指導要領の該当箇所

高等学校学習指導要領・第2章・第10節情報・第2款・第1　社会と情報

2 内容

(3) 情報社会の課題と情報モラル

ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題

情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。

ウ 情報社会における法と個人の責任

多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。

3 本時の目標

情報社会における個人情報の扱い方について、個人情報の種類やプライバシー情報の漏洩を防ぐための正しい知識を身に付け、被害者にも加害者にもなり得るという自覚をもち、望ましい情報社会を実現するために必要なことは何かを考え、表現することができる。

4 人権教育との関わり

この単元では、情報社会の課題と情報モラルを学習する中で、個別の人権課題の一つである「インターネットによる人権侵害」に関する内容を取り扱います。情報化が社会に及ぼす影響と課題や情報社会における法と個人の責任について理解を深め、社会の一員としての役割を果たし、望ましい情報社会の創造に向けて主体的に参画する態度を養うことを大切にしています。情報技術の活用においては、プライバシーの侵害や誹謗・中傷の問題について考え、責任ある行動をとることができる態度を養うことも大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度
技 能 的 側 面	他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を確認する。 ・情報社会が進展する中で、自分たちの生活を脅かす事件や問題も発生するなど、情報社会に影の部分がある。 ・問題の一つに個人情報の流出がある。 <p>【課題】情報社会の中で私たちが情報を取り扱う際、個人情報保護の観点から気を付けるべきことを考え、まとめよう。</p>		
<p>■学習活動</p> <p>【個人情報にはどのようなものがあるのか整理してみよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかを組み合わせると個人が特定できる情報のことを個人情報という。 ・氏名や性別、住所、生年月日などの基本的事項に加えて、婚姻歴や親族関係など家庭生活等に関するものや、職歴、資格、勤務評価等の社会生活等に関するもの、資産、収入、納税額等の経済活動に関するものなど、多様な情報が含まれる。 <p>■学習活動（グループ）</p> <p>【例えばアンケートで意識調査に協力する際に、回答する時に慎重さを要する項目はどれか考えよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液型、電話番号、好きな映画、好きな食べ物、部活動、氏名、住所等 ・慎重さを要する項目とその理由をホワイトボードに記入し、グループごとに発表する。 <p>■学習活動</p> <p>【個人情報が流出した事例をもとに、これまでの自分たちの経験なども踏まえながら、流出の原因を分析して、流出を未然に防止するために必要なことをまとめてみよう。】</p> <p>(例) 個人情報が記録されたファイルを添付した電子メールを誤送信した。</p> <p>(例) 個人情報を記録した媒体を紛失した（盗難にあった）。</p> <p>(例) SNS上に保存した個人情報が誰でも閲覧できる状態になっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪意をもって個人情報を不正に入手しようとする場合もある。 <p>(例) スパイウェア、フィッシング、コンピュータウイルスなどがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータセキュリティをかけたり、個人情報は別媒体に記憶させたりするなど、費用や労力をかけてでも厳重に管理する必要がある。 	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような情報が流布するとプライバシーの侵害につながる危険性があるか想像させる。 <p>○意識調査アンケートの事例</p> <p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同様に他者にも権利があることや情報を取扱う際には責任が伴うことなどを確認し、一人一人の責任ある行動が相互に関連しながら情報社会を作り立たせているという自覚をもたせる。 <p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の観点から自己自身の行為に責任を負う態度。 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の情報の取扱いによって、自覚のないまま他者の権利の侵害に加担してしまうことがあることに気付かせ、情報管理について責任ある行動とは何か考えさせる。 	
<p>【まとめ】個人情報に関する正しい知識を身に付けるとともに、個人情報を取り扱う際には、他者の権利を侵害することにならないか常に考えることが大切であり、一人一人が被害者にも加害者にもなりうる可能性があることを自覚する必要がある。</p>		